




「モンテレー地域のビジネス環境」

東北部日墨協会
会長 リカルド・ペレス・大宝



みなさん、おはようございます。
リカルド・ペレス・大宝と申します。
まずは、簡単に自己紹介をさせていただきます。
わたくしはモンテレイ出身で、公認会計士です。
経歴といたしましては、1977年より KPMG や
PWC など、主に会計事務所に所属し、アルファ、ビトロ、
プルサル・インターナショナル・グループなどと
一緒にお仕事をさせていただきました。直近の22年
間は経営および財務の分野にて、そのうち16年間は
テレパフォーマンス社メキシコ、中南米、カリブ地区
の経営および財務部門のバイス・プレジデントを勤め
させていただきました。



本日はモンテレイにおけるビジネス環境についてお話しさせていただきます。
まずは、地域に関する重要な情報からご紹介いたします。



「モンテレイ」とは、モンテレイシティとその近郊にある以下11の市を含むメトロポリタンエリアの呼び方です。

モンテレイ
サン・ペドロ・ガルサ・ガルシア
サンタ・カタリナ
サン・ニコラス・デ・ロス・ガルサ
エスコベド
サリナス・ビクトリア
アボダカ
フアレス
グアダルペ
サンティアゴ
カデレイタ



また、モンテレイの人々を

「レヒオス」や
「レヒオモンタノス」
と呼びます。



モンテレイはアメリカとの国境から200 kmの位置に所在しており、文化や生活スタイルにテキサス州のそれが影響しています。TEX-MEXとも呼ばれています。

これは、180年前まではメキシコ領土であったテキサス州には多くのメキシコ人やヌエボ・レオン住民の親族が住んでいるからです。

現在、テキサス州の人口の38%がラテンアメリカ人で、主にメキシコ人です。



モンテレイ地域の推定人口は約5百万人で、ヌエボ・レオン州の全体人口の約90%を占めます。また、メキシコで3番目に大きく、南北の国境付近でも一番大きな都市であり、経済的に活発な人口は2.3百万人にもものぼります。



モンテレイは、1596年にスペインとポルトガルから移住してきたスペイン系ユダヤ人によって開拓されました。現在に至っても、モンテレイ住民の多くがユダヤ系先住民らの子孫です。そして、この原点こそが、この地域の人々の性格や行動を独特なものにしています。しかし、歴史的なカトリック教徒によるユダヤ人への迫害のため素性は隠され、地域住民にさえ広くは知られていません。



モンテレイは、現地の企業家や労働者の仕事魂から「メキシコの産業首都」と呼ばれており、メキシコ全土で認知されています。これは、メキシコのなかでも暑く乾燥した土地であるにも拘らず、何年にも渡って国の経済を推進してきた産業の質と規模と数によるものです。



モンテレイは、極度の暑さと農畜業の欠如から努力と労働の文化が生まれ、国内でも際立った存在になることができたと考えられています。ヌエボ・レオン州は、その高い生産性により、歴史上最も連邦政府に税金を納めてきた州でもあります。

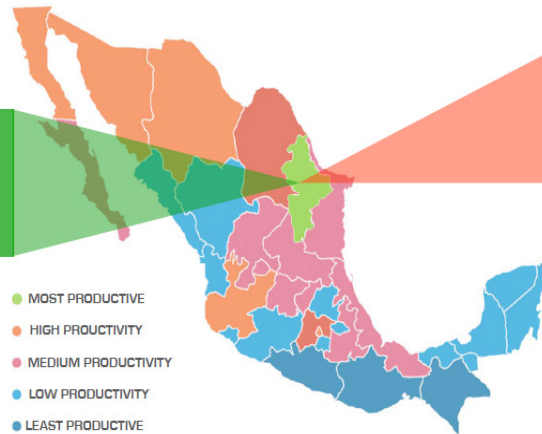


モンテレイ住民の異文化に対する傾向ですが、レヒオス全般にとって、世界的に認められている日本人の労働と努力の魂に対し、日本とその文化に特別な尊敬の念を抱いています。また、親近感もおぼえるのです。しかし、日本人に対する尊敬の念を持ちながらも、残念ながら日本人と韓国人と中国人の外見を見極めることができない人々がいることも現実です。また、アジア文化に関する知識が浅く、文化同士の違いの認識に誤解がある場合もあります。



モンテレイの平均年齢は27歳です。これは、メキシコ全体の平均年齢である24歳にとっても近く、日本の平均年齢である44歳とは大きな差があるようです。レヒオスは、メキシコの中でも最も生産性の高い住民で知られています。次のページの、州別の生産性を示している資料をご覧ください。

16 YEARS
STRIKES FREE



ECONOMICALLY
ACTIVE POPULATION
2.3 MILLION
INHABITANTS

Source: CIDAC (2013)

連邦政府は、メキシコの発展を推進すべく、2013年から2014年にかけて以下7つの改革を可決しました。

エネルギー改革 通信改革 経済競争改革
財政改革 税金改革 労働改革 教育改革



これらの改革は長い歴史のなかでも重要なものであり、国内外からの投資に大きなチャンスを生みしました。

また、エネルギー改革につきましては、2014年8月にエネルギー分野において21の二次法案が可決されました。（新規9案、現法改定12案）

これらの改革がきっかけとなった主に外資系の投資の動きに応じて、モンテレイでは150の工業団地にて国内外からの投資の受け入れに備えました。



モンテレイに所在する大規模な産業の生産を支えるPYMES（ピメス）と呼ばれる零細中小企業は全体の90%を占め、雇用の42%に及びます。

家族経営文化とレヒオスの積極性によって、人口の多くがPYMESに属します。

今日、PYMESは、モンテレイでの成長と発展を助ける多くの公的・私的援助を受けることができます。



州政府に関しましては、来る6月7日（日曜日）にヌエボ・レオン州知事および全市町村知事の選挙が行われます。新州知事の任期は2015年10月から6年間で、市知事に関しましては11月から3年間です。また、3年間の任期で42下院議員も選ばれます。同じ日に、メキシコ各地で同様の選挙が実施されます。モンテレイでは、PRI（制度的革命党）とPAN（国民行動党）が継続して政権を握ってきましたが、次期政党によっても外資系の投資に対する援助と働きかけの方針が維持されることを期待します。



ヌエボ・レオン州知事が所轄する経済開発省では、州知事の入れ替わりにも拘らず、12年間外資投資に対するプロモーションと対応を継続してきました。ヌエボ・レオン州およびモンテレイ地域では、国営財政優遇処置および人材の雇用および育成に関するローカル援助プログラムを通して、外資投資をプロモーションしています。



モンテレイが投資的、生産性的にも高いレベルを保ち続けるため、連邦政府、州政府、モンテレイの主な企業家たちの努力が絶えません。そして、これらの努力は近年のモンテレイへの外資投資によって支えられています。

連邦政府とモンテレイの企業家たちによる働きかけと援助の一例として、メキシコと日本のビジネス関係があります。メキシコ政府は、モンテレイ出身の起業家であるエンリケ・サンブラノ・ベニテス（PROESAグループCEO）と、モンテレイの日本名誉領事であるトマス・ゴンサレス・サダ（CYDSAグループプレジデント）の現地サポートによって、2005年4月より有効となったメキシコ日本経済協力同意書

（AAEMJ）に署名しました。これによって、両国の親睦と経済の絆がより深まりました。



また、メキシコ大統領の所轄である、経済長官であるイルデフォンソ・グアハルド・ビジャレアルのようにモンテレイ地域の公務員も全国レベルで政府に参加しています。



ヌエボ・レオン州の重要な企業家トップたちは、ローカルまた全国の企業会議所や、メキシコ経済の発展のため、合意、改善、改革などの取り付けをサポートすべく、様々な企業組織などに参加しているという事実を知っていただきたいです。

これらの組織のなかでも重要な一例は、1976年に設立したCCEと呼ばれる企業調整会議です。企業とメキシコ国の経済的成長と競争レベルの向上のため、政治と企業組織の株式を調整し、公的方針のデザインへ貢献すべく、特定のソリューションを伴う戦略的ポジションを識別します。



CCEとは、メキシコ全国にある加入者を代表する以下7つの協会から構成されています。

- 産業会議所連合（CONCAMIN）
- 商業メキシコ会議所連合（CONCANACO）
- メキシコ連邦経営者団連合（COPARMEX）
- 保険機関メキシコ協会（AMIS）
- ビジネスマン・メキシコ会議（CMHN）
- 農畜業メキシコ会議（CAN）
- メキシコ銀行協会
- および固定参加者5名



モンテレイでは、**産業およびトランスフォーメーションヌエボ・レオン会議所 CAINTRA**が機能しており、加入企業は食料品、自動車、通信、建設、コンサルティング、教育・育成、設備・供給、イベント、フレート・交通、メンテナンス・エンジニアリング、環境などに分類されています。



加入企業へのサービスとしては、連邦政府、州政府、市町村に対する提案、申告および変更における高度な代行および処理業務です。
また、様々なプログラムを通して、産業におけるイノベーションや生産性を促進し援助しています。



また、モンテレイでは、**モンテレイ商業会議所**
CANACO が機能しており、メキシコ国内でも二番目に重要なローカル会議所で、一万以上の会員が所属しています。1883年に設立したもので、会員は商業、観光、サービス企業です。



加入企業へのサービスは、同じく連邦政府、州政府、市町村に対する提案、申告および変更における高度な代行および処理業務となります。
その他のサービスとしては、加入企業同士の紹介、求職、法・財務顧問、研修およびトレーニング講習、当局に対する手続き処理、加入者への優待カードなどです。



モンテレイには他にも産業、商業およびサービス活動を援助する企業組織が所在し、大きな権力を持つ国営組織と連携をもっています。



モンテレイに所在する大企業は、過去とても低い離職率を誇っており、勤続30年の従業員も多くいたのです。これは、連邦政府と交渉のうえより良い品質の住宅を建設し、その付近に最先端の病院や学校を建て、それを連邦政府、大学、小中学校が共同で経営し、高レベルの教育やスポーツ活動を提供する、従業員やその家族を守る仕組みをつくりあげたからでした。メキシコでは、現場労働者と役員の間大きな給与の差が慢性的に存在してきたため、現場労働者とその家族らにとっては、自分らを守ってくれる方針が貴重だったのだと思います。



また、メキシコでは、企業家の介入無くしては、政府は労働者へ適切な住居、健康および教育のサービスを提供して来ませんでした。

しかし、近年の世代交代により、労働者やその家族を守る古い方針が変わってきてしまっています。結果的に、それらの企業では離職率が上がってしまいました。



一方で外資系企業では、より良い給与と福利厚生、労働環境の改善戦略によって、低い離職率を維持してこられた傾向にあります。



また、大学や短大においては、企業に経験を積んだ卒業生を受け入れてもらうため、適切な計画と交渉を行うことによって、協定、学習プログラムや研修、実地用機材の見直しを行う姿勢を示しています。

モンテレイの大学からは、年間約7,500人のエンジニアが卒業し、博士課程を経た学生が1,500人卒業しています。



UANLと呼ばれるヌエボ・レオン州立大学は、17万4千人の学生を誇り、メキシコで三番目に大きな大学です。

ITESMと呼ばれるモンテレイ工科大学は、メキシコで一番重要な私立大学で、ラテンアメリカでも重要な大学のひとつです。メキシコ国内の主要都市に26のキャンパスを構えます。

また、UDEMと呼ばれているモンテレイ大学もモンテレイでは重要な大学のひとつで、他にもU-ERREと呼ばれているレヒオモンタナ大学とCEUと呼ばれているセントロ・デ・エストゥディオス・ユニベルシタリオス大学などがあります。



また、 UDEM 大学と UANL 大学は長岡技術大学と二重学位提携をしています。

モンテレ事務局のコーディネーターは、元 AOTS (The Association for Overseas Technical Scholarship) (現 HIDA-AOTS) 奨学生のビクトル・カバソス氏が務めています。

また、これまで AOTS を通して 1, 300 人の企業家および専門家がモンテレイより日本へ渡航しています。



ヌエボ・レオン州にある技術専門学校からは、年間約 11, 000 人が卒業しています。

CONALEP (Nacional de Educación Profesional Técnica)

CEBETIS (Centro de Bachillerato, Tecnológico y de Servicios)

UANL Álvaro Obregón 高等学校

また、私立専門学校も複数存在します。

治安

過去5年間で、ヌエボ・レオン州およびメキシコにて犯罪が急増しました。そして4年前に州政府は、モンテレイの主な企業家達の協力得て、FUERZA CIVIL（フェルサ・シビル）という、技術、戦術、最新機材、より良い給与・住宅条件、より良い本人および家族に対する健康および教育援助を兼ね揃えた警察隊をつくりました。結果として、過去2年間州内の犯罪を減少させ、国内のモデルケースとなりました。

また、メトロポリタンエリアと州全体の安全レベルを測定する SEMÁFORO DELICTIVO（犯罪危険信号）が設けられました。

4月の信号を見る限り、まだまだ政府と民間による安全のための働きかけが不足していることがわかります。

次のページをご覧ください。

Semáforo del mes

Abril 2015



赤 :
 緑 :
 黄 :



まとめ

全体的にいうと、モンテレイ地域におけるビジネス環境は良いものであるが、企業側の協力によってより改善することができると考えます。

政府は、企業や民間に対する法律、協定、サービスおよび対応の改善に焦点を当てています。

今後は、会議所や企業組織に集結した企業が民間と一緒にあって、政府上層部に必要な改革を提案し、実行されることを監視し、協定や要求されるサービスが促進されるよう参加することが求められます。





労働人材においては、メキシコの中でも最も生産性が高いとされています。しかし、現状とても高い離職率を下げるためにも新しい戦略を講じる必要があります。

メキシコでは、労働者とその家族が受ける公益サービスがとても悪く、そのうえ現場労働者と役人の間に大きな給与の差があるため、日系企業こそ従業員の受ける福利厚生を改善するチャンスではないでしょうか。その結果、従業員の生活品質が改善されるだけでなく、日系企業への本物の帰属意識が得られるのではないのでしょうか。



これについては、既にある日系自動車部品メーカーが政府と協力して、従業員の子供向けに保育の分野にてモデルケースをつくりあげたそうです。



モンテレイに所在する大学や専門学校は、全国的に高い教育レベルが認められています。

しかし、世界的リーダーレベルの企業が求めるレベルに達するには、学生が必要とする勉強システムや実地材料の改善を援助するためにも、教育機関への関与が求められると思います。



最後に、日本人の皆様におきましては、ぜひローカルの人々とふれ合う機会を持っていただき、メキシコや、特にモンテレイの文化を深く知っていただくためにも、友情の輪を築いていただきたいと思います。

きっと素晴らしい経験となるはずです。
東北部日墨協会には、日本文化に共感し、あこがれ、言語や文化を学ぶために多くを投資しているメキシコ人がたくさんいます。そして、モンテレイの日本人コミュニティの力になりたいと思っています。



モンテレイでは、アミーゴ（友達）にこう言います。

‘MI CASA ES TU CASA’
(わたしの家はあなたの家でもあります)

モンテレイへようこそ！



ご清聴ありがとうございました。